

3. 渋滞緩和効果の検証

3-1 まとめ

【実施計画書で想定した効果】

○一般国道403号割野交差点の渋滞解消及び周辺道路の渋滞緩和

【検証結果】

○一般国道403号割野交差点の渋滞解消

※国道403号の新潟市中心部方面2車線化と合わせての効果（平成23年3月15日供用）

○一般国道49号の交通分担率の低減（朝ピーク時）

評価：実施計画で想定した効果と同程度の効果を確認

3-2 効果の検証

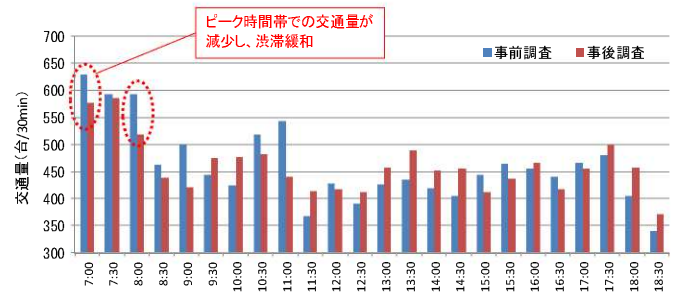
検証①：一般国道403号割野交差点における渋滞および交通量の検証

- ・新津西スマートIC開通後の一般国道403号割野交差点における渋滞は発生していなかった。（開通前に行った新潟（市中心部）方面への2車線化工事により既に解消。）
- ・一方、新津西スマートIC開通前後の一般国道403号の交通量は、ピーク時間帯で交通量が減少し、同じ時間帯の新津西スマートIC利用交通量が多いことから、高速道路への転換も渋滞緩和につながっていると考えられる。

□新津西スマートIC開通前後の渋滞状況

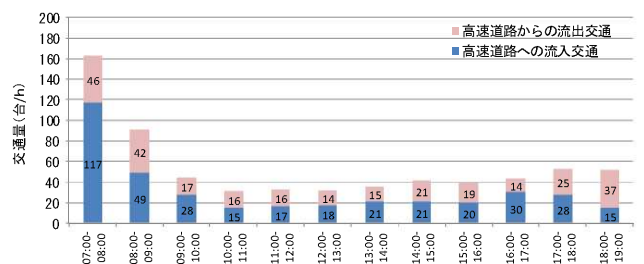


□国道403号の交通量変化



※事前調査：H23. 11. 16 事後調査：H24. 3. 6

□新津西スマートICの利用交通量



※事前調査：H23. 11. 16 事後調査：H24. 3. 6

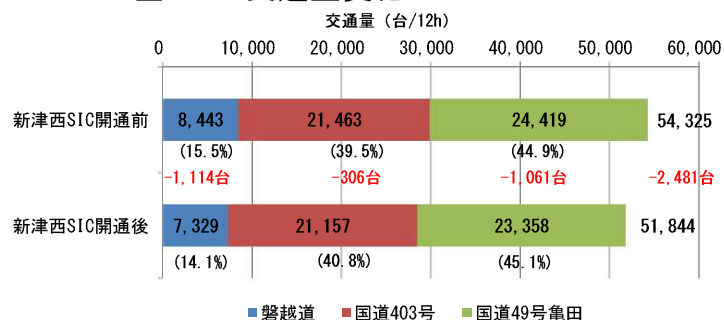
検証②：周辺道路における交通分担変化の検証

- ・新津西スマートICの開通による交通分担の変化を把握するため、新津西スマートIC（磐越道）とそれにアクセスする一般国道403号、磐越道と平行する一般国道49号の3路線の交通量を整理し交通分担率を確認した。
- ・昼間12時間の交通分担率は、磐越道が減少し、国道403号、国道49号の分担率が向上する結果となった。
- ・一方、朝ピーク時の交通分担率に着目すると、磐越道が増加し、一般国道49号が減少した。
- ・このことから、交通混雑時間帯（7時から9時）の朝ピーク時において、新津西スマートICの開通が、渋滞緩和につながっていると考えられる。

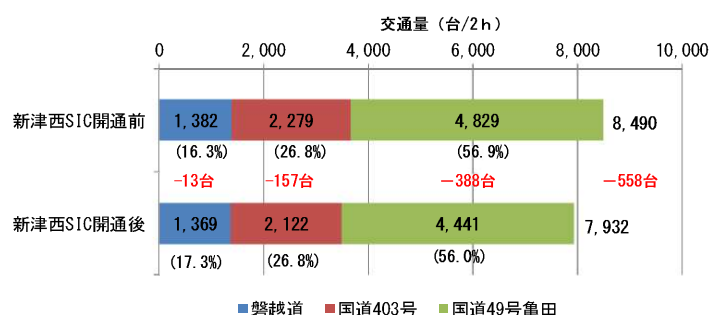
□交通量観測断面



□昼12Hの交通量変化



□朝ピーク時の交通量変化



※事前調査：H23.11.16 事後調査：H24.3.6

検証③：隣接する新津ICの利用台数変化の検証

- ・新津西スマートICに隣接する新津ICでは、開通後の交通量が150台/日程度減少している。
- ・これらは、新津ICから新津西スマートICへ交通が転換しているものと考えられる。

□新津ICの交通量変化（新潟方向の利用台数）

